

# 放射線被ばくについての 風評被害をなくしましょう

もし、あなたが被災者だったら、どんな気持ちになりますか？

原発事故のあった福島県からの避難者がホテルで宿泊を拒否されたり、被災地ナンバーの車がガソリンの給油を拒否されるといった事案のほか、小学生が避難先の小学校でいじめられるなどの報道がありました。放射能の影響を心配するあまりなのかもしれませんが、根拠のない思い込みや偏見で差別することは、人権侵害につながります。



間違った認識を持たず、放射線被ばくに対する正しい理解を！

このような差別は、勝手な思い込みや噂、間違った認識から起こっています。もともと放射線は、被災地でなくても私たちの周りのどこにでも存在しています。地球で暮らしている限り、宇宙や大地、そして空気中から微量の放射線を受けているのです。そして、体の外から放射線を受けたことを原因として人が放射線を出すようになることはなく、風邪のように人から人へ伝染するということはありません。放射線被ばくを正しく理解し、相手の気持ちを考え、やさしさを忘れず被災された方々をこれからも支援していきましょう。



ゼロゼロみんなの ひゃくとおぼん

相談  
窓口

全国共通人権相談ダイヤル ☎0570-003-110

鹿児島地方法務局人権擁護課 … ☎(099)259-0684  
霧島支局(代表・総務課) … ☎(0995)45-0064  
知覧支局 … ☎(0993)83-2208

川内支局(代表・総務係) … ☎(0996)22-2300  
鹿屋支局(代表・総務課) … ☎(0994)43-6790  
奄美支局(代表・総務係) … ☎(0997)52-0376